事業所名	社会福祉法人たかはら学園 放課後等デイサービス　Kidsたかはら	支援プログラム	作成日　令和6年11月11日

法人（事業所）理念	「じしゅ・じりつ・じはつ」をあらゆる活動の基盤として、法人・職員が心を一つにし、保護者・利用者、地域住民、関係自治体等と連携をし、「利用者が地域の中でごく当たり前の生活ができること」の実現を目指します。			
支援方針	子ども達の『できる・たのしい・だいすき』を伸ばすことができるよう、療育・学習・運動・訓練など、１人ひとりに合わせた支援を行っています。家庭や学校の他に、もう一つの居場所として本人及びご家族の支えとなり、ルールやマナーなどの基本的生活習慣を身に付けられるようサポートを行います。			
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	あり　なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・登園後に検温し健康状態や精神状況をよく観察するとともに、学校からの引継ぎや保護者からの連絡などを確認しながら本人の状況把握に努めています。 ・食事、排泄、衣類の着脱、手洗い、歯磨きなどの基本的な生活習慣が身につけられるよう活動内容にも取り入れながら支援を行っています。 ・衣類やマスク、水筒、爪などの衛生面や、排泄や睡眠時間などの生活リズムについても本人をよく見て健康状態の維持または改善を図っています。 ・学校からの宿題がある方は宿題を、ない方は個別の療育を行うなど、活動以外にも机向かい何かに取り組む機会を作れるようにしています。		
	運動・感覚	・毎週実施している体操教室でゲームや体操、踊りなどの運動を行い、広い体育館で体を動かしながら自分の体の使い方を学び、体力や運動能力の向上に努めています。 ・空いた時間を見つけて外遊びや体育館遊びなどの機会を作るようにしており、日課の活動以外にも身体を動かすことでメリハリのある時間を過ごせるようにしています。 ・ボールプールや粘土遊び、片栗粉スライム作り、手浴マッサージ・足湯などの活動の中で、様々な感覚刺激を受けられるようプログラムを組んでいます。		
	認知・行動	・子どもの感覚や認知の偏りを理解し、指示を短くしたり視覚的に伝えるなどの工夫でわかりやすさを意識しながら場面に合った行動ができるよう支援をしています。 ・日付、曜日、天気、日課など、イラスト等で掲示することで視覚的にわかりやすくし、活動手順についてもそれぞれの理解度に応じて説明方法を変えるなどの工夫しています。 ・数量、形の大きさ、物の重さ、色の違いなど、ゲームや遊び、工作などの様々な活動を通して習得のための支援を行います。		
	言語 コミュニケーション	・子どもの特性に応じて写真や絵カード、マカトンサイン、指差し、身振りなどのコミュニケーション手段を使いながら意思の疎通を図っています。 ・一人ひとりの話をできるだけよく聞いてその子どもの気持ちを受け止め、安心して自分の考えややりたいこと、気持ちなどの伝え方を学べるよう支援しています。 ・自分の気持ちを表に出して相手に伝えられることの大切さを知ってもらい、その方法を正しく身に付けながら適切なコミュニケーションがとれるように促していきます。 ・来園時や帰宅時の挨拶、送迎時や何かしてもらった時の感謝の気持ちなど、様々な場面での挨拶が自然に出るように日々の練習を繰り返し行い、習慣づけられるようにしています。		
	人間関係 社会性	・様々な活動や遊び、ゲームなどを通して他者との関わり方やルールを学べるようにアドバイスしながら年齢や場面、相手に応じた言葉遣いもできるようになるよう支援しています。 ・こだわりは寛容に受け止めつつ、代替できるものを活用したり別の事に気が向くように誘導しながら、うまく気持ちの切り替えができるよう支援しています。 ・心配なことを抱えている時や不安に思う事がある時、または甘えたい時などに、安心して話せる場所や相手であるよう、スペース等の環境を整え耳を傾けられるよう心掛けています。 ・遊びや活動の中で、他者の言動を見たり模倣することにより社会性を身に付け、職員が介入することで適切な関わり方や仲良くする方法を学べるようにしています。		
家族支援	・利用中の様子や体調、心身の変化等について保護者と共有しながら本人についての理解を深め、将来に向けた進路の方向性も含めた支援を行います。 ・同居しているきょうだいや家族の体調や生活状況等を知ることで、本人の体調や精神状態などの変化に気づき、家族も含め必要とされる支援を考えます。	移行支援	・本人や保護者からの話をよく聞き、市や学校と連携しながら進路への希望についての情報共有に努めます。 ・学校公開への参加、担当者会議等で出た情報の共有、モニタリング時の保護者の話をもとに、今後必要となる支援を考え、実践します。	
地域支援・地域連携	・市の家庭相談員や学校との情報交換、子ども部会への参加、社会福祉課や各相談支援事業所との情報共有などを行い、地域との連携を図ります。 ・法人全体として実習生や地域ボランティアの受け入れ、地域住民の行事参加、さまざまな地域イベントへの参加などの交流の機会があります。	職員の質の向上	・法人内で行われる研修や外部の研修に参加できる機会を積極的に作り、そこから学んだことを支援に活かせるよう自己研鑽に努めます。 ・福祉の仕事がチームワークの上に成り立つことを理解し、心身の健康管理に努め、お互いを尊重しながら専門性を高めていきます。	
主な行事等	【季節行事】始業式、母の日工作、七夕、納涼祭、プール遊び、敬老の日工作、ハロウィン、クリスマス会、年賀状作成、大掃除、初詣、豆まき、ひなまつり、卒業の祝い、終業式等 【その他の活動】体操教室(週１回)、誕生会(月1回)、実験遊び、お菓子作り、足湯、外散歩、長期休暇時の外出(公園・なかがわ水遊園・買い物)、調理、避難訓練、カラオケ等 【その他】毎月のおたより発行/HPへの掲載			